



世界自然遺産の島
屋久島

No.33

平成28年
3月

屋久島町 議会だより



保護者の全面的なバックアップにより26回目を迎えた「ふれあい屋久島自転車一周」

シリーズ（学校紹介）⑩岳南中学校（P15へ続く）

《主な内容》

◇第4回定例会	2	◇行政報告	7
◇総括質疑	4	◇一般質問	8
◇常任委員会報告	5	◇シリーズ[学校紹介]	15

12月定例会の報告

条例の制定及び一部改正

12月8日から18日まで第4回議会定例会が開催され、平成27年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算8件、条例10件、承認1件、同意案3件、その他4件の議案が提案され、屋久島町暮らし体験住宅管理条例を除き、それぞれ原案どおり可決、承認された。なお、屋久島町暮らし体験住宅管理条例は、一部修正のうえ可決された。

また、決算特別委員会に付託されていた平成26年度一般会計歳入歳出決算認定他8件の特別会計歳入歳出決算認定についても全て認定された。

○町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例

制定Ⅱ〔行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づき個人番号の利用及び特定

個人情報の提供に必要事項を規定し、マイナンバーを利用し庁内での情報の連携等を行うための制定〕

○町暮らし体験住宅管理条例

制定Ⅱ〔移住希望者が暮らしを体験することで、移住者の増加を図り、人口減少に歯止

めをかけるための移住体験住宅を整備するための制定〕

○町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正及び町職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部改正Ⅱ〔地方公務員法の一部改正に伴う改正〕

○町税条例の一部改正Ⅱ〔地方税法の一部改正に伴う改正〕

○町国民健康保険税条例の一部改正、町災害被害者等に対する国民健康保険税条例の一部改正及び町介護保険条例の一部改正Ⅱ〔行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う改正〕

○町へき地学校教職員住宅管理条例の一部改正Ⅱ〔へき地

学校教職員住宅を暮らし体験住宅として利用するための改正〕

○町産業開発促進条例の廃止Ⅱ〔町離島振興対策実施地域産業開発促進条例の施行に伴う条例廃止〕

補正予算

○一般会計補正予算(第8号)

3億9028万円を増額し、総額を106億5598万2千円とするもの。

【主な歳出】

○財政調整基金積立金 6838万2千円

○公共施設整備基金積立金 6800万円

○だいたすき基金積立金 2000万円

○ふるさと納税お札に係る経費 2800万円

○庁舎建設木材調達管理業務委託料 314万5千円

○介護保険特別会計繰出金 462万円

○保育所運営に係る経費 2億2400万円

○児童手当費 1718万円

○国民健康保険特別会計繰出金 3452万6千円

○山岳部し尿搬出ルート調査に係る経費 162万円

○地域・耕作者・経営転換機構集積協力金 831万4千円

○有害鳥獣捕獲対策に係る経費 1440万5千円

○観光緊急対策事業に係る経費 300万円

○児童手当費 1718万円

○国民健康保険特別会計繰出金 3452万6千円

○山岳部し尿搬出ルート調査に係る経費 162万円

○地域・耕作者・経営転換機構集積協力金 831万4千円

○有害鳥獣捕獲対策に係る経費 1440万5千円

○観光緊急対策事業に係る経費 300万円



移住体験住宅(船行)



車庫が改修される南分這所

第4回定例会



改修がすむ町永良部島番屋ヶ峰避難施設

- 町営住宅修繕に係る経費 300万円
- 南分遣所車庫改修に係る経費 400万円
- 口永良部島番屋ヶ峰避難施設整備費 1180万円
- 小学校準要保護児童生徒徒援助費助成金 150万円
- 岳南中学校防災強化設計に係る経費 140万円
- 湯川(湯泊)地区かん排水施設災害復旧工事費 1714万4千円

- 林道災害復旧工事費 2322万1千円
- 船舶事業特別会計繰出金 6263千円
- ◎特別会計補正予算
- ◇簡易水道事業(第2号)
 - 災害復旧に係る経費等を増額したが、南部地区簡易水道事業費の減額により6792万5千円の減額となり、総額を5億3401万5千円とするもの。
- ◇国民健康保険事業(第3号)
 - 保険給付費等の増額を保険基盤安定繰入金などを充て、7647万9千円を増額し、総額を25億3169万4千円とするもの。

- ◇介護保険事業(第3号)
 - 保険給付費等の増額を保険基盤安定繰入金などを充て、3455万4千円を増額し、総額を13億8872万1千円とするもの。
- ◇診療所事業(第3号)
 - 人件費に係る経費を繰入金で調整し、16万9千円を減額し、総額を1億4466万

- 口永良部島診療所に係る使用料の減、栗生診療所の機器リースに係る経費の増額を診療所事業費で調整。総額に変更なし。
- ◇農業集落排水事業(第1号)
 - 機能強化事業に係る経費の増額を施設管理費で調整。総額に変更なし。
- ◇船舶事業(第2号)
 - 運賃収入などの減額を一般会計繰入金で調整し、1343万円を増額し、総額を3億741万2千円とするもの。
- ◇電気事業(第2号)
 - 収益的収支については、消費税納入に係る経費等を特別損失及び予備費で調整。総額に変更なし。



栗生ふれあい加工センター

9千円とするもの。

その他

- 指定管理者の指定3件 〔まごころ市ぽん・たん館、栗生ふれあい加工センター、安房荒茶加工施設〕
- 教育長の任命について 〔川原高男氏の任期満了による退任に伴い、新たに塩川文博氏を任命するもの〕



塩川 文博氏 (霧島市)

- 教育委員会委員の任命について 〔任期満了等に伴う教

育委員会委員について、引き続き委員として鎌田道隆氏を任命するもの〕



鎌田 道隆氏 (楠川)

- 監査委員の選任について 〔任期満了等に伴う監査委員について、引き続き委員として朝倉富美雄氏を選任するもの〕



朝倉 富美雄氏 (宮之浦)

以上、一部修正のあった屋久島町暮らし体験住宅管理条例(修正可決)を除き、その他の議案は全て原案のとおり可決・同意した。

陳情

- 口永良部島、向江浜避難漁港に関する陳情 一部採択
- 口永良部島、本村港への海砂流入・堆積とその防止施設新設に関する陳情 採択

総括質疑

総括質疑

所属する委員会以外のことについて
本会議で質疑を行なうものです。

問 可燃物再資源化委託料を1000万円減額している理由は。

答 当初から紙、ビニール、プラスチックの発生が少なくなることは想定されていたが、その通りの傾向が見られることから減額措置した。

問 松食い虫の現状を放置するとやがてはシロアリの単窟になると心配されている。徹底的に駆除する必要があるが100万円増額の根拠は。

答 当初で100万円計上していたが現地調査を行った結果、同程度の増額が必要と判断して今回増額した。

問 屋久島町観光緊急対策事業補助金の300万円の内容は。

答 観光客の減少傾向の要因は「豊かな自然の上にあぐらをかいていたのではないか」という懸念から、これまでの取り組みを根本的に見直すタイミングだと考えている。従来とは違う切り口で、新たな屋久島の魅力を積極的かつ効

果的に発信しつつ、受け入れ体制の充実を図り、成熟度を上げていく必要があると考えている。今回、その柱になると考えているのは、屋久島旅行商品説明会と関東屋久島ファン集い、そして北部九州観光誘致事業である。その中身は観光客の3割を占める

関東の方々や関係機関との議論を通して、忌憚のない提言をしていただくと共に噴火による風評被害を払拭すること。北部九州においては、大

学ゼミなどとおして、教育レポの誘致や空路の直行便利用促進、観光プロモーションを展開する予定である。

問 児童措置費でこの時期の補正で保育所運営に支障はないのか。

答 2億2400万円という高額になっている。当初、認可保育園3カ所、認定保育園3カ所、児童総数2330名で予算措置したが、新制度のスタートで認定子供園の教育部

門(幼稚園)3カ所、小規模

施設3カ所の追加で児童総数が445名となり多額の補正となった。

なおこのうち、幼稚園部分の補正は3月に計上される。事務処理が3ヶ月ほどずれたことでこの時期になったが、各施設の運営には支障はないと考えている。

問 180万円の人件費削減がなされているが、自然館の運営に支障はないのか。

答 館長が9月に退任されてから、3月までの暫定措置として副町長が館長を、学芸員、一般事務を担当課であ

たっている。職員については、

4名のうち2名が退職したことで募集した。結果1名が欠員となっているが、受け付け業務は経験者の方を臨時でお願いしている。臨時体制ではあるが、運営上問題はないと考えている。

問 国保会計への法定外繰り入れはいくらになっているか。

答 2億円弱になっているが、これが減額するということは考えていない。

問 口永良部への帰島が現実となつているが、島民や学校の再開などの支援のために、一年をめどに出張所の職員の補充は考えていないか。

答 国保会計への法定外繰り入れはいくらになっているか。

答 2億円弱になっているが、これが減額するということは考えていない。

問 口永良部への帰島が現実となつているが、島民や学校の再開などの支援のために、一年をめどに出張所の職員の補充は考えていないか。

答 国保会計への法定外繰り入れはいくらになっているか。

答 2億円弱になっているが、これが減額するということは考えていない。

問 国保会計への法定外繰り入れはいくらになっているか。

答 2億円弱になっているが、これが減額するということは考えていない。

答 教育委員会なども十分協議をして、遺漏がないようしっかりとやりたい。



すみれ幼稚園



屋久杉自然館

第4回定例会議員表決一覧 (賛否の分かれた議案等のみ) ○は賛成 ●は反対 欠は欠席 ※議長を除く

件名	議員名 結果	議員名														
		石田尾	日高(忠)	緒方	永野	山崎	真辺(有)	岩川(修)	小脇	下野	岩川(俊)	日高(豊)	真辺(万)	寺田	渡辺	満園
口永良部島、向江浜避難漁港に関する陳情〔1. 台風接近時や荒天・強風で波が高い状態の折には、向江浜、避難港の使用を許可することについて〕	採 択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○

産業厚生常任委員会 審査報告

本委員会に付託された案件

は条例案2件、予算案8件、その他の案件3件。質疑応答等の主なものは次のとおり。

介護保険条例の一部改正

問 延滞料を課する際、緩和措置などないのか。

答 話し合いのうえ、一定期間は考慮できると思う。

問 マイナンバー制度導入で事業運営はどうなるか。

答 個人の収入が把握しやすくなる。

一般会計補正予算(分割)

問 農地中間管理事業は、集落でとりまとめて実施するよう指導しているのか。

答 1団地が10ヘクタール以上のまとまりがないと難しいので推進しやすいい集落を選定している。

問 鳥獣被害防止総合対策交付金が約半額になっているがどうしてか。

答 申請したが国の予算がつかないとのこと。

あった。

問 エコ豆炭加工契約の最終期限はいつか。

答 平成28年1月31日である。

問 ごみ処理施設運営計画策定業務委託費100万円の内訳は。

答 炭化物処理に相当な費用をかけているので新たな運営計画を策定するため。

問 7月に被害を受けた農林道は工事に向けて進んでいるのか。

答 3カ所の内2カ所は終了している。残りは口永良部島寝待温泉道路で、査定が1月上旬になると聞いている。

簡易水道事業補正予算

問 8000万円の減額は執行残か。

答 当初予算に対して国の補助がつかなかった。

国民健康保険事業補正予算

問 税率が上がったことで、法定外の繰り入れをなくし、一般財源を押しさえるとのことであったが。

答 法定外の繰り入れが1億9000万円ぐらいいなくなっており、医療費を下げるための啓発などを行いたいと思っている。

介護保険事業補正予算

問 介護住宅改修の実績、特定認定者介護サービス費の増額の理由は。

答 11月段階で今後の支払い見込み額が当初予定より増加すると思われるため。

電気事業補正予算

問 高所作業車庫建設費が400万円計上されているが場所はどこか。

答 電気庁舎と宮之浦支所町

長室との間である。指定管理者の指定について

まごころ市ぼん・たん館

問 前回指定の際、今後改善すべき点を指示するとのことであったが、結果は。

答 結果は次のとおり。

- ① 地産地消に十分配慮して運営すること。これについては23年度は地元野菜・果物・花卉等の販売額の割合が58・5%であったが27年度は現在まで67%で、徐々に改善されている。
- ② 観光土産品店化の解消を図ること。これについては、観光土産品の新規を受け入れていない。地元農産物・加工品を推進している。
- ③ 営業時間を厳守すること。これについては、夏季期間の売り上げが全体の5〜6割程度ある。また、現金管理及び防犯上、営業時間を延ばすことはできない。

意 栗生ふれあい加工センター 定住促進事業の中で唯一



まごころ市ぼん・たん館

稼働しているところで雇用もあり、市場に出せない農産物等を扱う実績もあるので町も施設の維持管理には十分配慮してほしい。

▼安房荒茶加工施設

問 議員が代表であっても問題はないのか。

答 22年度から議論してきているが、法的には問題ないと判断はできている。また、改善した方がいいのではないかと意見もある。

以上、付託された案件は全て原案のとおり可決すべきものとした。

総務文教常任委員会 審査報告

本委員会に付託された案件

は条例案8件、予算案2件、その他1件。(主な質疑)

鹿児島県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び同組合規約の一部変更

問 この変更は、大隅地区が入ったものか。

答 県内で事務を共同処理するもので、何らかの理由で未加入のところが入ったことによるもの。

屋久島町個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定

問 通知が届いても、まだ見えていないという人が多く、住民に不安が多い。カードの作成は住民の判断に任せざるべきでは。

答 カードの作成は本人の自由である。詳細は1月の町報でお伝えする予定である。

屋久島町暮らし体験住宅管理条例の制定

問 教員住宅を所管から外すことすら知らない集落に対する説明は。

答 平内集落以外の集落への説明はまだしていない。

問 真剣に移住したい人をターゲットにするのか、どのように判断をするのか。

答 最低3カ月以上入居することを条件に入れることで、移住に強い関心を持つていると判断ができると思う。

屋久島町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正

問 退職者の管理とはどのようなことか。

答 退職後、関係団体への再就職、いわゆる天下りが想定されている。

屋久島町税条例の一部改正について

問 差し押さえ物件の換価の猶予制度を使う可能性は。

答 かなりの対象者がいる。

問 時効になる前に手続きを行うのが正しいやり方で、猶予をすることで払う機会をつくるということか。

答 特に事業者は換価されなければ困る場合がある。時効の中断なしの、単なる5年経過による時効は改めるべきと考えている。

一般会計補正予算(分割)

問 通学バス運行委託に関する債務負担行為はどうなっているのか。また、北部と南部のバランスをとってほしい。

答 平成25年度から27年度の3カ年間の債務負担行為というところで、それぞれ年度ごと

に入札を執行している。総務課とも協議し、整合性のある内容で契約を進める。

問 屋久島町だいきき基金2000万円の内訳は。

答 個人からはインターネットのヤフー等を通じて1000名を超える申し出があり、個人企業からも相当額、個人でも1000万円を超える寄付をいただいている。

問 口永良部島に関する災害救助法にのっとった予算はい

つごる反映されるのか。

答 関連の経費については年明けに県の査定がある。災害救助法の適用になれば、国と県が2分の1なので町の負担はないが、査定で該当しないものもあると思う。

問 公共施設整備基金に約6800万円計上しているが、全体で幾らになるのか、また、ワークショップで積み重ねた結果とはいえ、増やすための手段と思われるが。



スクールバスで登校の子供たち



大雨により被災した砂防ダム(口永良部島)

〔答〕 全体で4億8814万6千円である。平米単価をマックスで試算しており、引き下げるようにしている。入札を控えているので単価の見直しをし、切り詰めていく。

船舶事業補正予算

〔問〕 地球温暖化補助金とは。

〔答〕 平成24年10月から地球温暖化税として、石油、石炭税に上乘せして、1ℓ当たり250円の税が加算されている。一般旅客航路事業のフェリー太陽は、この上乘せ税の還付制度が適用になったための還付金である。

〔問〕 休止となっている間の代理店業務に対しての支払いは。

〔答〕 人を抱えての代理店業務運営であり、また、種子島航路は、国庫補助航路として運営しているため契約どおりである。このことは国へも確認している。

※屋久島町暮らし体験住宅管理条例の制定の条文の中で集



荷積みを行う代理店従業員

落へ区費を払うことと条件が入っているが、区費は任意であることから項目から削除すべきとの修正動議がだされ、採択の結果修正動議を可決すべきと決定した。

以上、付託された案件は一部、修正され可決すべきものとした。

行政報告

○ 口永良部島「新岳」噴火
災害状況

5月29日の噴火以来、これまで住民の一時帰島7回を含む30回程度の一時帰島を行い電気、通信、水道、道路等のライフラインの管理、復旧作業を行ってきた。

9月25日に災害復興対策本部を立ち上げ、帰島可能となった際の災害計画の策定、復興計画に係る事業の企画・立案、事業の推進等について協議を進めている。

10月21日開催の火山噴火予知連絡協議会の検討結果、前田、向江浜地区を除く地域の帰島が可能となった。

11月16日、帰島に向けた現地対策班を設置し、町職員、消防団員、警察、気象庁職員が2泊3日の交代制で口永良部島に滞在し始め、宿泊を伴う復旧作業が可能となった。

11月30日に住民説明会を開催し、帰島に向け住宅清掃等準備作業を早急に進めるようお願いした。

12月1日、鹿児島県、警察、町職員など噴火以来初めて現地を視察し、復旧が進んでいることを確認した。しかしながら、噴火警戒レベルは5を継続しており、住民の完全帰島に向け、十分警戒しながら作業を進めていきたい。

○ ミカンコミバエ発生状況
報告

11月30日までに201匹が町内に設置している誘殺トラップで確認された。

12月に入りポンカンの収穫が最盛期を迎えることから、11月30日までに町内に約1万1千枚の薬剤と殺虫剤を含ませた「誘引板」を設置した結果、27日以降の誘殺数は2匹に激減した。

また、12月2日から寄生果実の処分作業を行い、蔓延防止を最優先に行っている。

今後も引き続き関係機関と協力し早期根絶、正確な情報の提供など風評被害対策に全力を挙げて取り組んで行く。

○ 第30回国民文化祭

10月31日から県下全市町村で「第30回国民文化祭、かごしま2015」が開催された。

安房体育館で「銘木ヤクスギを育む世界自然の島に集う日本の技と美」をサブタイトルに、「全国木工芸の祭典In屋久島」が開催され、作品の展示が行われた。

全国公募木工芸作品のコンテスト部門の表彰では、文部科学大臣賞をはじめ、全8賞の授賞式が行われた。

また、期間中「エコツアー屋久島」として「集落・里地めぐり」等が開催された。

○ 町民体育祭、駅伝競走大会

10月11日の町民体育祭には26集落が8チームに分かれ各競技に挑んだ。また、11月14日の駅伝競走大会では14チームがタスキをつないだ。いずれも好天に恵まれ、避難をしている口永良部島民を含む多くの方が参加した。また沿道での声援など多数の町民が携わっていただき、また、それぞれの場において意識の共有と地域の一体化を醸成することができました。

町民の皆様、関係者の方々に対しまして心から感謝の意を表します。

一般質問

9人が町の考えを問う

12月8日から10日に行なわれた一般質問を通告順に掲載しています。
この内容は、議会会議録をもとに質問者の責任において質問及び回答を要約したものです。
なお、会議録は議会事務局・町図書室・各集落の公民館で閲覧することができますので、詳細については会議録をご覧ください。



大川の滝付近の湧水

水環境保全の推進策は

町長／未来永劫「水の島」であり続けるために利活用と保全に努めたい



真辺 有次 議員

問 屋久島憲章で島づくりの指標として、いつでもどこでもおいしい水が飲め、人々が感動を得られるような水環境の保全と創造に努め、云々と

あるが、このことを推進するためにどのようなことが考えられるか。

答 屋久島の水環境の保護・保全は島の命題と考えている。おいしい水が人々の親しみと感動に結びつき、未来永劫「水の島」であり続けるために、さまざまな角度から利活用と保全に努めたい。

新庁舎建設に伴う組織機構の体制は

町長／住民や職員の意見をとりまとめ、改革を含めたうえで整備したい

問 本来の目的である町民サービスの充実を図るため、円滑かつ効率的業務を行うには組織機構の整備は重要になると思うが、どのような体制を考えているか。

答 町民が利用しやすい利便性を考慮した課の配置、相談しやすい区分された施設、ワ

ンストップサービス、総合案内窓口サービス向上を図る。庁舎建設と並行して住民や職員の意見をとりまとめ、改革を含め整備のための具体的な検討を進める。

問 町民に親しまれる愛着を持たれる庁舎とするための愛称やロゴなどをつくる考えはないか。また、島外から多くの見学者や視察団などが訪れる観光施設としての位置づけとその対策も必要では。

答 庁舎であることから愛称・ロゴは考えていない。また、地元杉材の特性をアピールする施設としたいので観光情報及び歴史・文化の情報発信機能といったソフト面を充実させることで、来島者の増加を図り、経済効果を高め、地域づくりにもつながっていくと期待している。

問 新庁舎へ移転後の旧庁舎の利活用については。

答 いろんなところから意見・要望が寄せられている。企業等への貸し付け等も含めて区長や住民の意見を聞きながら地域の活性化につながるよう検討したい。

町政全般について

町長／豊かで安心して暮らせる屋久島町づくり



石田尾 茂樹 議員

問 2期目の課題と行政運営についての考え方は。

答 屋久島空港の拡張整備を初めとする港湾・道路などの社会資本の整備・本庁舎の完成それに伴う組織機構の整備、また、財源の確保と健全財の維持、低迷している観光の再生、口永良部島の復興などが課題であり町民と直接語り合い親睦を深め、町民と町長に隔たりがあつてはならない、お互いの顔が見える政治を貫いていく。

問 一次産業の振興、次の担い手を育て、町で起業する若者に対する支援策について。

答 一次産業の後継者を育てていくことは、大事だと思つている。あらゆる支援策を講じて、町独自でやれるものと

かを、色々な方面で考えていきたい。

口永良部島復興支援について

問 町長／10年をめどに復旧・再生から発展につなげる

答 島民の帰島に対する支援策について。

答 家屋の改修や機器の購入は県の義捐金、保険金等で賄って費用が不足する分は、町での現金等でこれを計画、具体的な内容は調整中であり。帰島して終わりじゃありません。

ません。支援策については、県や国と関わっていく。

口永良部島の防火対策について

問 支所の職員を期間を設け2名体制に、介護衛生部門からも職員を派遣する支援体制をとれないか。

答 人的な配置をしたい。

問 有事の際の電力供給バックアップ機能の具体的な対策について



口永良部発電所

答 番屋峰避難所にバックアップ用として大型非常用発電機を設置し、5日程度の持続が可能である。重要な観測機器については、ソーラー発電型の施設にシフトするなど、電源の強化が図られている。

行政執行の有り方について

仮校舎建設中止は議会無視ではないか

町長／マスク対応はもとより議会説明は適切に行う



小脇 清保 議員

問 緊急を要するとして臨時議会まで開いて決定したにも関わらず、白紙撤回を議会に何の相談もなくマスク報道が先行するのは議会無視ではないか。

答 火山噴火予知連の見解を受け、教育委員会として中止を判断したようです。

問 執行権者は町長である。他人に回答を投げた言い回しは不適切ではないか。

答 今後、マスク対応はもとより、議会への説明は適切に行うようにしてまいります。

本庁舎建設の場所の見直しは考えるべきではないか

町長／そのつもりは有りません

問 空港拡張が実現すれば、現在の県道が移動して建設場所への影響が懸念されている。又、町営住宅の立退きも要求していると聞かすが、当初の条件から変更するのであれば議会にもかけるべきではないか。

答 そんなに影響はないと思っている。頻繁に飛ぶわけでもないのに、気にならないと思う。変更するつもりは有りません。



建設用地の地質調査

口永良部住民への義捐金の支給基準は

町長／災害の規模に応じた平等に支払った

問 義捐金とは生活支援資金である。生活基盤を失った教職員、郵政局員、本町の職員にも支給するというのは主旨からおかしいと思う。

答 県内での配付状況も調査し平等に支払うというのが原則であるのでそれに従った。

ガイド認定、入山協力金の2つの条例は、まだ不備な点があると思う。施行する迄に加筆修正の考えは

町長／条例を出すとき、必要であると私が判断したらその様にします。



屋久島公認ガイド
Official Certified Guide of Yakushima
屋久島公認ガイドロゴマーク

※その他、資源ゴミの収集改善策について質問

ミカンコミバエ対策には危機意識の共有を
町長／迅速に周知告知をする



日高 豊 議員

問 ミカンコミバエの発生から現在までの取り組み状況はどうか。
答 捕殺確認後、テックス板の設置を行うとともに、果実



埋設されるポンカン

問 町内のEV普及への取り組みはどのようなようになされてきたか。
答 県が主導して、まず低炭素社会地域づくりの事業に協調してその普及啓発に取り組んできた。
問 今後より一層のEV普及を図る為に所得制限を設けた町として

エコカー普及のための取り組みは
町長／先ずは公用車への促進を図る

答 移動制限となれば農家のみならず、町民生活への影響も大きいと考えるが町民への周知の徹底の必要性についてどう考えるか。
答 できるだけ早期の終息を目指して、町民全体に周知告知を行い各種対応が迅速に行われるようにする。

問 町内のEV普及への取り組みはどのようなようになされてきたか。
答 県が主導して、まず低炭素社会地域づくりの事業に協調してその普及啓発に取り組んできた。
問 今後より一層のEV普及を図る為に所得制限を設けた町として

エコカー普及のための取り組みは
町長／先ずは公用車への促進を図る

問 町内のEV普及への取り組みはどのようなようになされてきたか。
答 県が主導して、まず低炭素社会地域づくりの事業に協調してその普及啓発に取り組んできた。
問 今後より一層のEV普及を図る為に所得制限を設けた町として

の助成の考え方はないか。
答 EVを広く普及させるためにはそのような手立てが必要かもしれないが、今後の国県の補助の在り方も踏まえながら検討しなければいけない。
問 バイオリサカミキリへの購入助成はできないか
町長／環境保全型農業推進の観点から今後検討していく



会社との協議(H28.1.26)

問 アンケート結果で交通費や土産品の料金は満足度が低くなっている。観光振興のため、利用頻度が高い高速船の運賃改善に向け、町として取り組む考えはないか。
答 そのことは、機会ある毎

問 アンケート結果で交通費や土産品の料金は満足度が低くなっている。観光振興のため、利用頻度が高い高速船の運賃改善に向け、町として取り組む考えはないか。
答 そのことは、機会ある毎

町として観光振興のために高速船の運賃等の改善に向け、取り組む考えはないか
町長／町としてできる部分は関係課と連携してやっていきたい

に会社にお問い合わせしている。今後も住民の利便性確保と交流人口増加の観点から、町としてできる部分は関係課と連携してやっていきたい。
問 種子屋久高速船(株)設立には県知事も関与していると聞いているが、県と一緒に頑張って改善に取り組むべきでは。
答 そのような形でお願うことはできると思う。
問 議会と町と一緒に改善要請を行う場を設定してもらいたい。
答 日程調整し、議員と一緒に強く要請を行いたい。

種交付金を活用するため基本的な計画策定が義務付けられているが、本町の取り組みは。

答 平成26年2月に屋久島町地方創生推進本部を設置し、事業を進めている。

また、地方版総合戦略の策定状況は、将来人口を導き出すため7月から住民アンケートを行い人口ビジョンを策定し、パブリックコメントを求めた。同時に有識者会議を設置し、議論を重ね取りまとめを行い骨子案まで完成しており、年度内に最終的な計画書を作成する予定である。全町を挙げて交付金の取り漏れがないよう具体的な施策を提案していく。

問 職員以外からの提案募集は考えていないのか。

答 パブリックコメントを公募し、最終的に3月に策定する予定である。

町民の広場を定期的に開催する必要はないか

町長／区長さんが集落や区民のことを一番把握していると考えるので、駐在員制度を充実させることで町民の声を吸い上げていきたい

広報・広聴システムの充実のため、光回線の整備を図るべきでは

町長／光回線の導入に向けて前向きに取り組みたい



寺田 猛 議員

問 インターネット回線等を活用した新たな広報して、議

屋久島空港の整備・拡充の進捗と町の取り組み

町長／県がジェット機就航に可能な滑走路延伸の測量等を行う

問 鹿児島県による滑走路延伸調査等を踏まえて町としての取り組みと展望を伺う。

答 町としては、屋久島空港が拡張され、ジェット機が就航した場合の空港需要予測調査を実施、利用者予測や経済効果の試算や、航空会社への要望活動等、エージェンツや関係機関との連携による新商品ツアーの取り組みをおこなっている。早い機会に拡張工事が着工できるよう鋭意努



早期の拡張が望まれる屋久島空港

会や各種会議等のライブ中継を実施し広報・広聴体制の充実を図るべきと考えるが、見解を伺う。

答 議会や会議等のライブ中継等には、光回線への切り替えが必要である。高速通信網の整備は本町の重要課題でもある。Wi-Fi等の関連インフラ整備は観光客への情報や企業誘致等の関連もあり、今後光回線の導入に財務と協議し前向きに取り組みたい。

フェリー太陽の新船建造計画のタイムスケジュールは

町長／平成31年度中に新船を就航させたい

問 新岳噴火災害を踏まえて、フェリー太陽の新船建造計画のタイムスケジュールと展望について見解を伺う。

答 平成28年中に航路改善協議会・29年度に新船建造委員会を設置し、新船の構造等を検討する。31年度中の就航を目指し関係機関と協議したい。新船の規模は、現在のフェリー太陽より一割程度小型化した船舶になる予定。



新船建造が予定されているフェリー太陽

議会動向〔平成27年12月〕平成28年2月〕No.1

平成27年12月1日 口永良部島噴火対策調査特別委員会現地視察

3日 第11回全員協議会

8日 第4回屋久島町議会定例会開会

24日 屋久島空港ターミナルビル株主総会(鹿児島市)

平成28年1月3日 屋久島町成人式(離島開発総合センター)

4日 平成28年仕事初め式

6日 平成28年消防出初め式(宮之浦会場)

8日 屋久島観光協会新年会(屋久島グリーンホテル)

26日 種子屋久高速船舶株式会社との意見交換(鹿児島市)

町議員研修会(ウエルビューかごしま)

(13ページへ続く)

高速船燃油料金値下げ
要求を「オール屋久島」
で

町長／一致団結して要望
活動に取り組む



渡辺 博之 議員

問 沖繩のガソリン価格がリッター90円まで下がり、専門家が今後も原油は下落するという中で、高速船の燃油料金に乗せの根拠はもはやなくなっている。町民の不満や観光にも大きな影響を与えているこの問題の解決は喫緊の課題となっている。文書による議会の回答要請にもなしのつぶての会社の姿勢は不誠実きわまりない。この上は「オール屋久島」で要求すべきと思うがどうか。

答 議会や関係機関と連携しながら取り組んで行きたい。

町道管理の見直しを

町長／改善すべき所は改善したい

問 高齢化と後継者不足で農道や町道の管理が厳しくなっていると思う。総合グラウンドや健康の森公園の整備管理が5人体制に比べ、町道管理は全体で4人、農道はその都度、賃金を支払って行っている

る現状はアンバランスであり、見直しが必要ではないか。
答 燃料費などの支給を行い集落にお願いしたり、建設業界のボランティア活動に頼りながら、草刈りなど道路管理に努めているが、高齢化もあり、現状は十分ではない。今後財政状況も考えながら、改善すべきところは改善して対応していきたい。



高速船待合所(宮之浦港)



追いつかない町道整備

国の「地方創生」を活用して「住宅リフォーム助成制度」や「高校までの医療費無料化」の実現を

町長／検討してみたい

○予算計上及び執行は
業務委託及び賃金職員のありかたについて

町長／業務委託・個人との雇用契約はきちんとする



緒方 健太 議員

問 決算特別委員会等の中で、個人との業務委託契約が数多く見受けられるがこのことは本町ならではのものか、又、個人との委託契約のなかで町が社会保障をしているが、このこと自体正しい事務処理なのか。

答 確かに労災雇用保険等の社会保障については、余り気に留めないまま、契約を進めてきており瑕疵的なものがあります。業務の委託・個人との雇用契約については当然きちんとしなければならぬと思う。

○監査対応
決算審査等の結果に対する対応は

町長／事務の適正化に取り組む

問 計画を立て事業を行い事業に対する検証を行う。その検証したことを次に繋げていくということが事業を行う中

で最も大切である又「指摘事項等については監査委員に通知をするものとする」と規定されているが、このことがな

されていない状況にある。今後の対応をどのように考えるか。

答 公債費の抑制、収入の確保など、健全財政のもとで財政運営をもとめられている。即時対応可能な部分については改善を図りながら、審査の際口頭で報告している。今後、監査委員の指導を真摯にうけとめ事務の適正化及び健全財政の運営に取り組んでいく。

○政治姿勢
二期目の公約に対する取り組みは
町長／検証を進め町政の発展をめざす

問 この4年間で方向性を導きだしたかと理解するが、継続し公約を果たすためにどうとりくんでいくのか。
答 二期目の公約をかかげたので、これまでの成果の検証を進めるとともに、取り組みが不足している分野については、早急に具体的な施策を展開し、町政の発展を目指す。

畜産振興
町の畜産経営の最終目的は

町長／畜産振興の継続と後継者の育成に全力を



満園 明 議員

問 町による畜産経営の最終目的をどのように考えているか伺います。

答 畜産農家は高齢化、後継者不足が顕著になっており、町がある程度の飼養頭数を維持することは、畜産業の継続並びに振興を図る上で必要であると同時に、新規参入者も含め後継者の育成に力を入れていきたい。



長峰牧場

観光振興
観光振興に屋久島牛を提供した振興策を

町長／地産地消の観点から検討を

問 屋久島観光は食の提供が薄いと言われていきます。この食の提供について、町経営の畜産をリンクさせられないのか伺います。

答 島内のホテル関係者からもメインとなる食材として肉の提供ができないかという声が届いていることも事実であります。実現できるルートを早速調査をして、審議をしてそういうことができないかどうか試みはやってみます。



牛舎正サ場

平成28年
2月4日
No.2
議会動向〔平成27年12月〕平成28年

- 平成28年 2月4日 県後期高齢者医療広域連合会議 議員研修会 (鹿児島市)
- 7日 前熊本県菊陽町長 富永清次氏の町民葬出席
- 12日 平成27年度種子島屋久島振興協議会総会
- 米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会
- 第63回県下一周駅伝大会熊毛チーム激励会(鹿児島市)
- 16日 県町村議会議長会 定期総会
- 17日 県離島振興町村議会議長会定期総会 奨学金返還支援制度説明(鹿児島市) 県後期高齢者医療広域連合議会第1回定例会
- 21日 県下一周駅伝大会熊毛チーム解団式(鹿児島市)
- 2016サイクリング屋久島
- 22日 平成28年第1回臨時会
- 28日 第9回屋久島町生涯学習大会

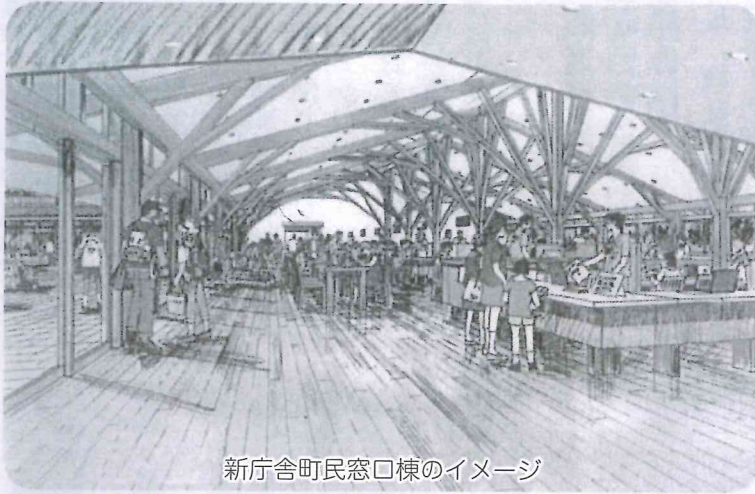
議会全員協議会報告

◎12月3日開催

○町長部局

①新庁舎建設の進捗状況について

・空港滑走路の延長により県道が移設された場合の想定ラインを説明。町内産材を活用した木造庁舎とし、屋久島の資源と人材を活用した木造庁舎建設を行うことで、林業及



新庁舎町民窓口棟のイメージ

び木材産業の活性化と地域づくりに繋げたいと説明。

問 平成28年8月から工事が始まる予定だが、どういう施工業者が請けて地元の大工との協議はどうなっているのか。

答 町の建設基準のAランク業者が入札を行う。地元の大工とワークショップを5回ほど行っている。

問 総事業費はこれまで14億円と聞いていたが、14億円は本体工事で設備工事が3億円となっているが。

答 基本設計に基づく概算であるので、事業費を落とす努力をしていきたい。

問 議員ワークショップで議場のレイアウトについて意見が出ていたがその後の状況は。

答 レイアウトについては詰めていないが、可動式で収納ができる形にしたい。

②ミカンコミバエの状況について

・ミカンコミバエの誘殺状況について、11月20日に2匹が発見され、11月30日までに201匹が誘殺されたが、その後は急激に減少している。

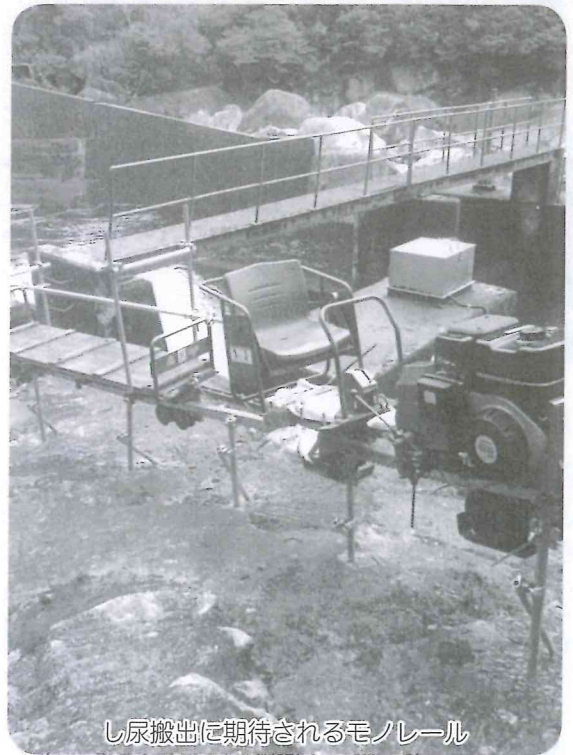
島内の県道・農道沿いなどに約1万1千枚の誘引板を設置した。落果果実の除去・埋設等その残渣処理に対する重要性を農協の目揃い会や役員会及び生産者や住民に説明を行った。

・農家だけの話では終わらないので、正確な情報を早く住民に知らせてほしい。自分の所の庭先にある果実も移動できなくなるということがあるかもしれないという意識をもってもらわないといけない。

・チラシの中にも園地内の落果・きず果・腐敗果等を放置すれば発生源になり、極めて危険な状況になると書いて知らせたい。

③屋久島山岳部動力車設置事業ルート可能性調査に係る屋久島町の基本的な考え方にについて

・し尿搬出経費の効率的な対策として、モノレール動力車



し尿搬出に期待されるモノレール

によるし尿搬出方策を鹿児島県に提案したところ、県が設置事業者の2分の1以上の支援をすることになった。実施場所については、新高塚小屋及び高塚小屋から白谷220支線を経て宮之浦ルートに設置する。

○教育長部局

①応急仮設校舎建設の経緯・経過について

・10月21日に火山予知連において、口永良部島の立ち入り禁止区域が縮小されたことを受けて、町が年内に全島島の方角性を出したことから教育委員会としては10月23日に仮設校舎の計画を白紙に戻すと

いうことを決定した。金岳小中学校の再開に向けた取り組みについては、11月に校舎内部の清掃・消毒や校庭のダニ駆除・草刈り作業を終えた。12月に校舎の内壁補修や備品を戻す作業を終える予定である。

問 給食センターの調理員はどうなるのか。

答 始業式からやれるように整えたい。

問 先生方の家の復旧はどうか。

答 専門の業者が行くので見てもらう。住めないことはない。

シリーズ学校紹介⑩

岳南中学校

1 岳南中学校区について

岳南中学校区は、昭和57年度に神山中学校、八幡中学校、栗生中学校の3校が統合し、34年目を迎えている。本年度生徒数79人、PTA戸数68戸、教職員数12人である。

本校生徒は、学年間、男女間を問わず仲がよい。挨拶がよいことも自慢の一つである。また、地域行事への参加率が



黒味岳登山(山頂にて)

一〇〇%で、各小学校の運動会や地域の運動会、敬老会などただ参加するだけでなく、伝統行事の担い手として、小学生以下の子どもたちのリーダーとして、中学生の地域で果たす役割は大きい。

卒業後の進学先は屋久島高校が最も多い。次に鹿児島市内の高校への進学者が多いが、中には県外の高校への進

学者もいる。

2 岳南中学校の教育

【教育目標】

心身ともに健康で、よりよく問題を解決し、人間性豊かな生徒を育成する

【校訓】

自主「自ら学び、主体的に行動できる生徒」

礼 儀「礼儀正しく、正義を重んじる心豊かな生徒」

根 気「健康で、最後までやり抜く意志の強い生徒」

奉 仕「勤労を重んじ、思いやりの心をもち共に助け合う

生徒」



授業の様子(道徳)

3 生徒

特色ある教育活動

【キャリア教育と岳南ESD教育】

本校では、「キャリア教育の視点に立った『自ら動き出す生徒』の育成」を旨とし、具体的には生徒をそれぞれの「立場に立たせる実践」を行ってきた。キャリア教育が目差すところは、自己実現に必要な態度や能力を育むところにある。このことは、本町で進めているESD教育のねらいに同じである。具体的な実践として全校生徒参加の黒味岳登山、3年生による職場体験学習、生徒会が中心となつた埼玉県騎西中学校との交流、各教科による授業を通じた取組みなどがある。

本校では、キャリア教育で育みたい態度や能力のうち「人間関係形成・社会形成能力」、「課題対応能力」、「キャリアプランニング能力」の3点に絞り込んだ実践を行っている。

4 PTA活動

【岳南中学校PTA活動テーマ】

《協和》〜思いは一つ！子どもたちによりよい教育を！〜

このことを共通理念とし、しっかりと協力をして信頼の「和」を築いていく

【特色ある活動】

本校PTAの取組みは数多くあるが、中でも屋久島町民に馴染みが深いのは「ふれあい屋久島自転車一周」ではないかと思う。

本事業は、3年生保護者の全面的なバックアップにより実施している。自転車による島内一周は、中学校を旅立つ3年生に、ふるさとの良さを体感させたい、力の限界にチャレンジすることで自信をもたせたい、思いやりや助け合つて生きていくことの大切さを知る機会にしたいという願いから始められた。平成26年を初年度として、今年度で26回を数えたが、その間一度も中止されたことがない。

これらの活動を通して岳南中学校教育活動の一層の充実に努め、教育目標の具現化を目差したい。

投稿写真

町商工会青年部



雪に覆われた茶畑(松峯) H28.1.25

投稿写真募集

風景・行事等テーマは問いません。このコーナーで紹介したい写真をお持ちの方、ぜひご提供ください。一言、写真の説明文を添付していただければたいへん助かります。採用された方には、粗品を進呈いたします。不明な点がありましたら、議会事務局へお問い合わせください。

クイズ

問①ミカンコミバエの「誘引板」の設置数は？

約()枚

②新子ども・子育て制度における対象児童数は？

()人から()人に？

③新庁舎建設の工事はいつからの予定？

平成()年()月

※クイズの正解者の中から抽選により、3名の方に図書券を進呈いたします。

◆応募方法

住所・氏名・年齢を明記の上、ハガキで下記へご応募ください。

- 岩川 絹代様
○横井 多美代様

議会を見にきませんか

・だれでも自由に傍聴できます。
・受付簿に住所、氏名を記入していただくだけです。

◎議会(定例会・臨時会)は

宮之浦支所と尾之間支所で開催されています。
6月1日から11月30日までは：宮之浦支所議場
12月1日から5月31日までは：尾之間支所議場

◆締切日

平成28年5月6日(金)

消印有効。

◆応募先住所等

〒891-4404
屋久島町尾之間157番地
議会事務局クイズ係
電話 43-5900 (内線372)

▼前号の正解は、次のとおりです。

問1 (連絡会)(専門委員会)(調査委員会)

問2 (読書量)屋久島一番

問3 (折崎)ヘリポート

◎正解者の中から、抽選により、次の方々に図書券をお贈りしました。

編集後記

2014年11月、地方創生に向け「まち・ひと・しごと創生法」が施行され、これに伴い、同年12月「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定された。この戦略の中に「若者雇用対策推進、正社員実現加速」↓「若い世代の経済的安定」↓「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」↓「人口減少に歯止めをかける」という流れで、中長期的に地方創生を目指すことが掲げられています。

さて、去る1月3日、わが町でも成人式が開催され、94人が参加しました。

屋久島で生まれ、屋久島で育った若者達が、地元で生活できる基盤を整えていくことがまさに今、国が唱えている「地方創生」を実現させるための大きな柱となっています。

人口減少に歯止めをかけるため、何が必要なのか。これを政策として実現していくため、わが町もこの総合戦略の計画策定を進めているところです。今後の動向を注視していきたい。(山崎)

発行責任者

議長 日高好作

編集責任者

議会広報委員会

委員長 山崎利広

副委員長 緒方健太

委員 渡辺博之

委員 真辺有次